

令和7年度普及活動アルバム

北アルプス農業農村支援センター

～「人」と「食」がつながる北アルプス山麓の農業・農村～

第4期長野県食と農業農村振興計画の北アルプス地域発展方向に掲げた6つの重点取組に沿って、関係機関の皆様方と連携しながら普及活動を展開してまいりました。

令和7年度から新たに「北アルプス地域の果樹産地維持に向けた担い手の確保・育成」を重点課題に設定し、担い手育成による果樹振興に取り組むとともに、大北産米の品質向上、スマート農業の推進、北アルプス山麓ブランド品のブラッシュアップ、地域計画の実現に向けた取組、食育など多くの普及活動課題で一定の成果を得ることができましたので、その一部を紹介させていただきます。



【通年】【重点課題】 果樹産地維持に向けた担い手の確保・育成

年間を通じ重点対象者に対して果樹生産の意欲向上を図るための個別支援やセミナー等を開催しました。

果樹栽培の技術・知識習得以外にも、地域の果樹生産者との橋渡しや、情報交換の場づくり等担い手育成の活動を推進することができました。



【5月】食農教育

池田町でガーデンハックルベリー栽培・加工に取り組んでいる「花とハーブの里ガーデンハックルベリー生産者の会」の会員さんと共に、高瀬中学校の生徒たちに定植指導を行いました。

生徒たちの食や農に対する意識を高めることができました。



【5月】北アルプス山麓ブランド県内物産展

「北アルプス山麓育ち」のブランド認定品や地域特産品について、観光と農業の連携による北アルプス山麓地域の振興を推進するため、国際的な山岳観光の玄関口である松本駅の広場を活用し、松本地域及び全国各地からの来県者に対して情報発信と販売促進を行いました。



【7月】AFC と支援センターによる新規就農者激励会開催

地域の農業青年クラブのアルプスファーマーズクラブ(AFC)と共催で、令和7年度の新規就農者が、地域農業の担い手として活躍されるよう、先輩農業者、関係機関等による激励会を開催しました。

今後の経営発展や、大北地域の農業振興について情報交換をすることができました。



【7月】カイゼン先進農家視察

カイゼン手法の導入を検討している経営主と同行し、箕輪町の果樹経営体の視察研修を行いました。

視察先では、作業ボードの導入や活用状況について直接説明を受け、経営主には従業員の動きの見える化や、経営主と従業員の連携向上、業務の効率化等について具体的なイメージを持ってもらうことができました。



【7月】 水稲直播栽培検討会

松本地域と合同で、大町市と安曇野市で取組まれている湛水直播と乾田直播のほ場4か所の巡回を行いました。

両地域から担い手水稲農家20名ほどが参加し、それぞれの地域での取組みの様子、成功したポイントや失敗事例、今後の課題等の情報交換を行いました。互いの地域の生産者どうしの親睦も深まりました。



【7月】 鳥獣害対策対応

今年は農地へのクマの出没が例年に比べ多く、農業被害も発生しました。

野生獣の侵入防止対策として効果のある電気柵の設置方法、維持管理方法について、個別に支援を行いました。

適切な電気柵の導入について意識を高めることができました。



【10月】 子実用トウモロコシ 現地検討会

県内で初めて本格的に「子実用トウモロコシ」に取り組み、3年目となりました。

過去の栽培・試験データから作成した「子実用トウモロコシ」栽培マニュアルに基づいて試験栽培したところ、反収630kgの品質が高い子実用トウモロコシを収穫することができました。



【12月】地域計画集落懇談会

地域計画の実現に向け、各地で開催された集落懇談会に参画しました。

目標地図を見ながら、農地の利用状況、担い手の状況など今後の集落の在り方等について意見交換を行い、情報を共有しました。

今後も一層の地域計画の完成度を高める支援を継続します。



【12月】女性活躍に関するアクションプラン推進事業

農村生活マイスター協会北安曇支部の会員延べ24人が、地域で課題となっている鳥獣害対策の一環として、シカ肉ジャーキー作り作業を3日間にわたり体験しました。

地域資源の再確認や、新しい視点での多様な食のありかたを学ぶとともに、農村女性の有意義な情報交換の場となりました。



【2月】アスパラガス新植ほ場調査

池田町で令和8年に枠板式栽培でアスパラガスの新植を予定しているほ場の土壌調査を行いました。

ほ場に穴を掘り作土深など確認するとともに排水性診断を行い、新植に向けて必要な土づくり事項を確認しました。